

令和 3 年度 過年度卒業生（薬学部）へのアンケート調査結果について

1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒後 5 年、10 年の学生（薬学部は 5 年のみ）を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 薬学部卒業生

第 5 期生【平成 29 年 3 月卒業】 109 名（卒後 5 年目）

調査期間 令和 3 年 8 月 6 日（金）～10 月 24 日（日）

実施方法 インターネット（Google Form）を利用した Web アンケート

質問内容 ① 氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（○期生）
② 現在の状況、勤労状況、勤務形態
③ 臨床研修を受けた都道府県、専門研修（後期研修）の選択科または選択予定科※医学部のみ
④ 専門医の取得状況 ※医学部のみ
⑤ 学位の取得状況、満足度 ※医学部のみ
⑥ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価
⑦ 岩手医科大学での学びのキャリア選択への貢献度
⑧ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度
⑨ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度
⑩ 岩手医科大学への満足度
⑪ その他

3. 結果

【回収率】

薬学部 第 5 期生 23.1%（21/91 人（109 人））

詳細は別紙の通り。

4. 総括

・回答者全員が卒後 5 年を経過しても薬剤師として勤務している。勤務先としては企業が大半を占める。

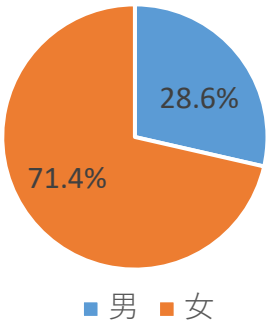
・設問 4 学修成果の達成では、「医療人としての倫理観」「医薬品の適正な扱い」「チーム医療に資するコミュニケーション能力」に対する達成度が比較的高い。一方で、「問題解決力」「医療人材を育成する意欲と態度」などの達成率が低く、20%程度であった。

・設問 5 カリキュラムへの満足度について、「満足している」「ある程度満足している」が合計で 67%程度に留まっている。一方で、地域医療への貢献度は過去の調査と同様に比較的高く評価されている。

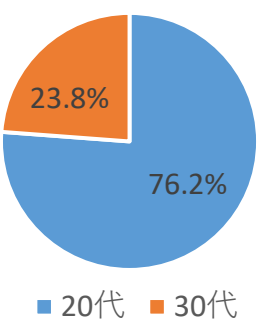
・設問7 本学を卒業してよかったかという問いに対して、「良かった」「どちらかといえば良かった」が80%以上を占めており、満足度は高い。

薬学部

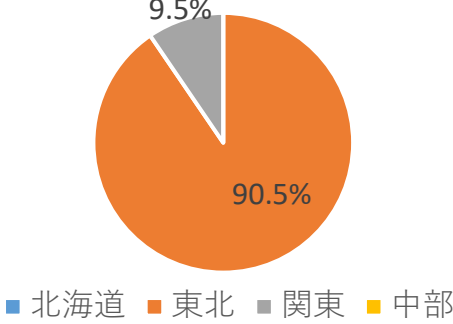
性別



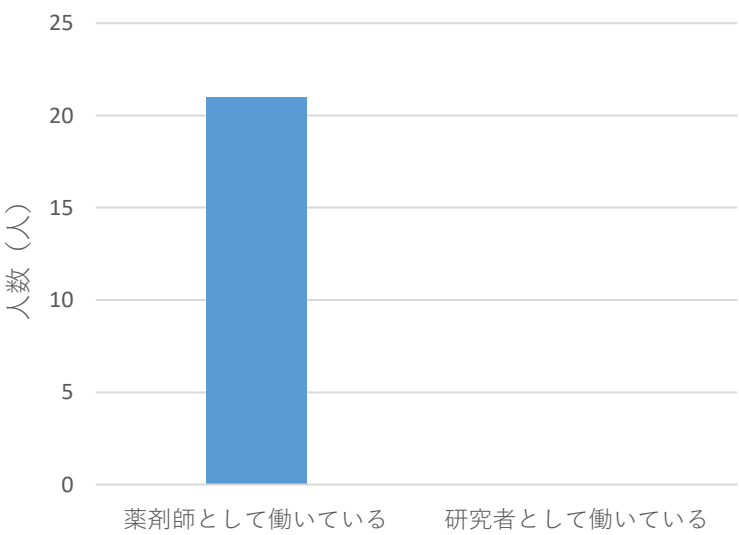
年齢



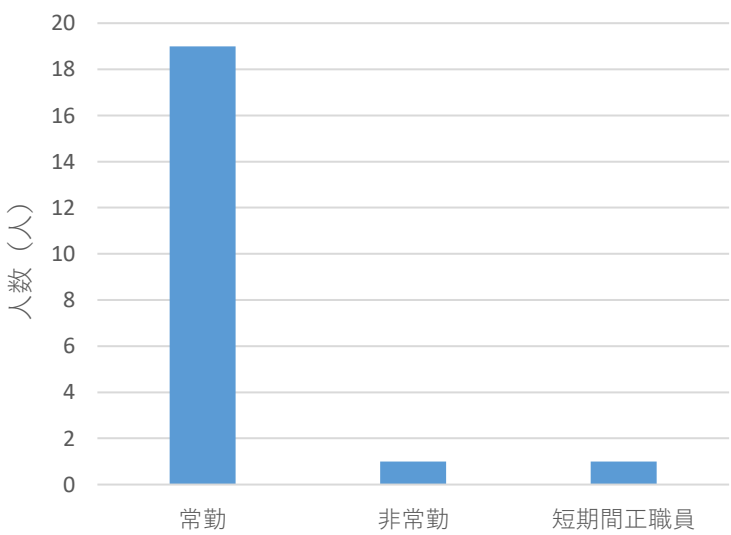
住まい



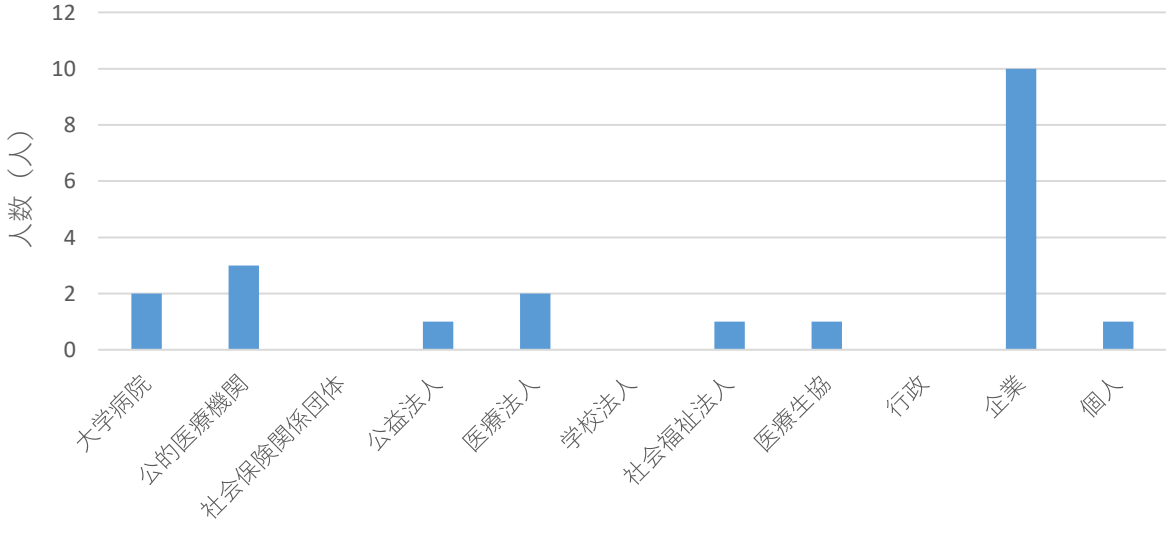
設問1 現在の状況



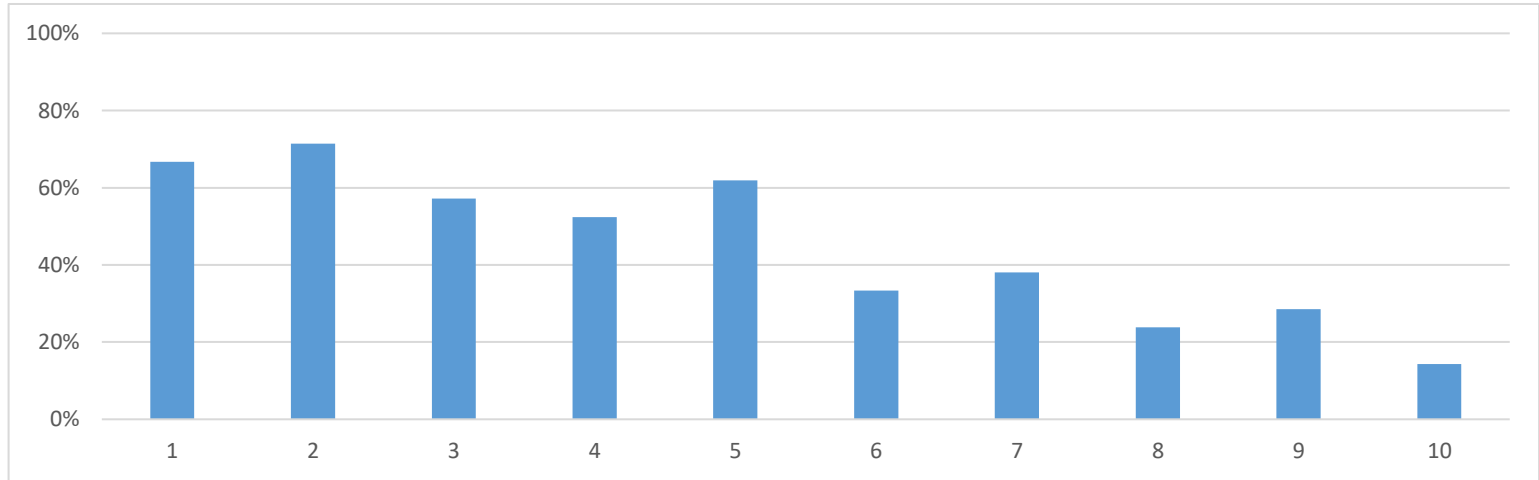
設問3 勤務形態



設問2 勤労状況

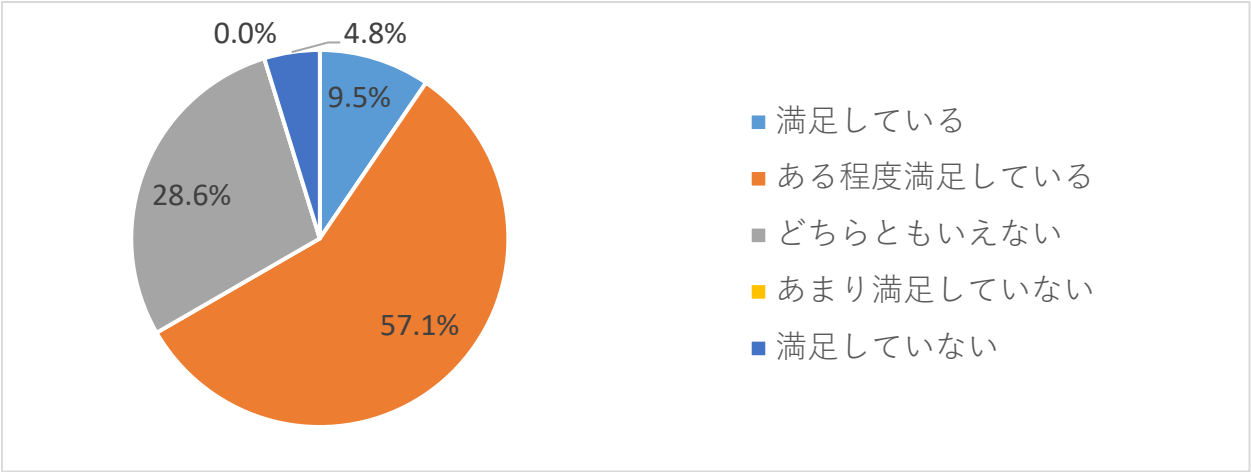


設問4 学修成果の達成について

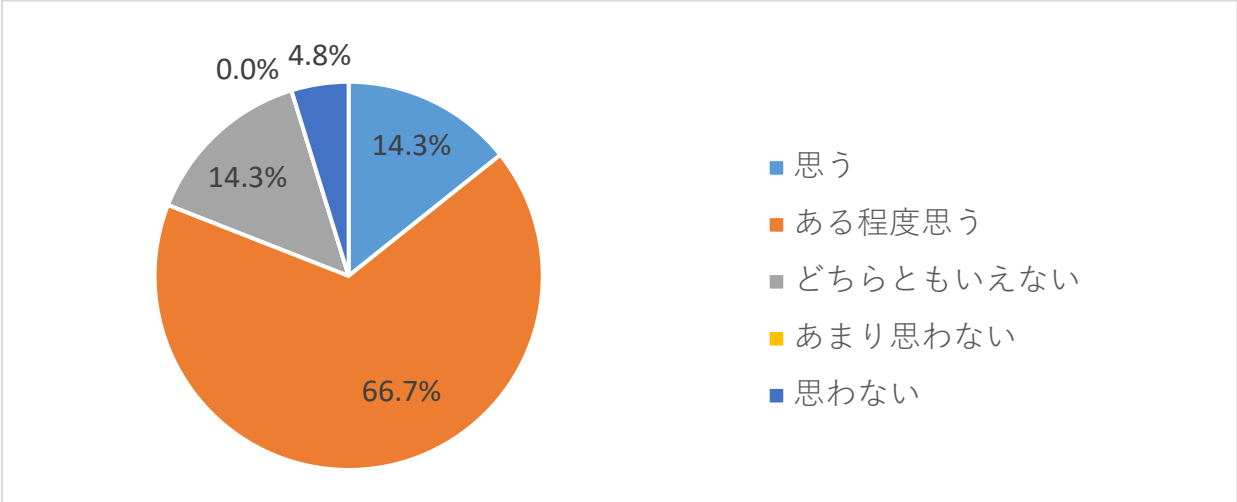


1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。

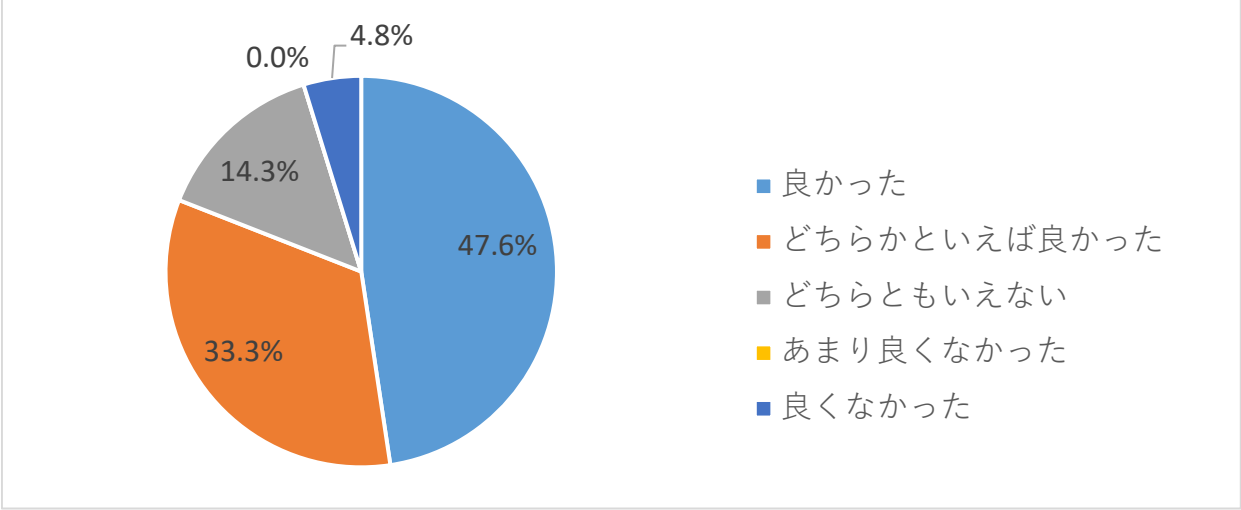
設問5 カリキュラム満足度



設問6 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。



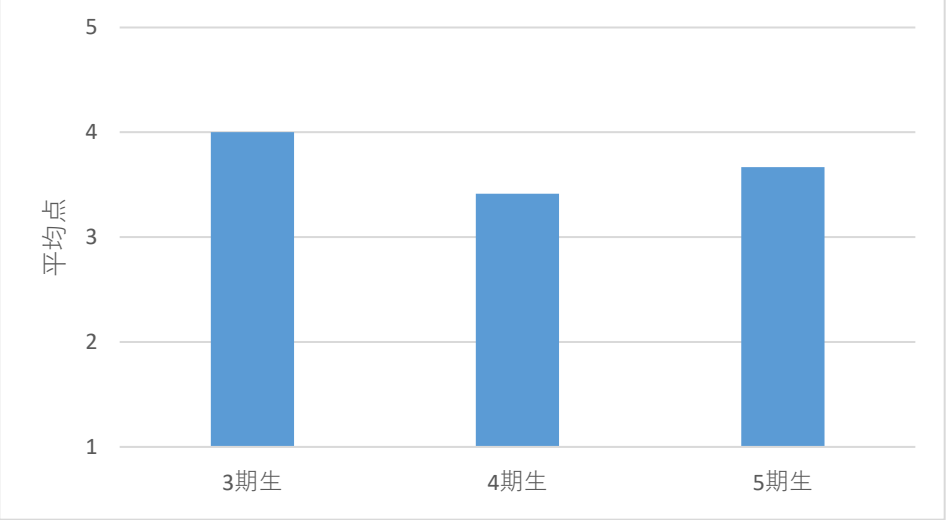
設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。



過去3カ年の経年比較（薬学部）

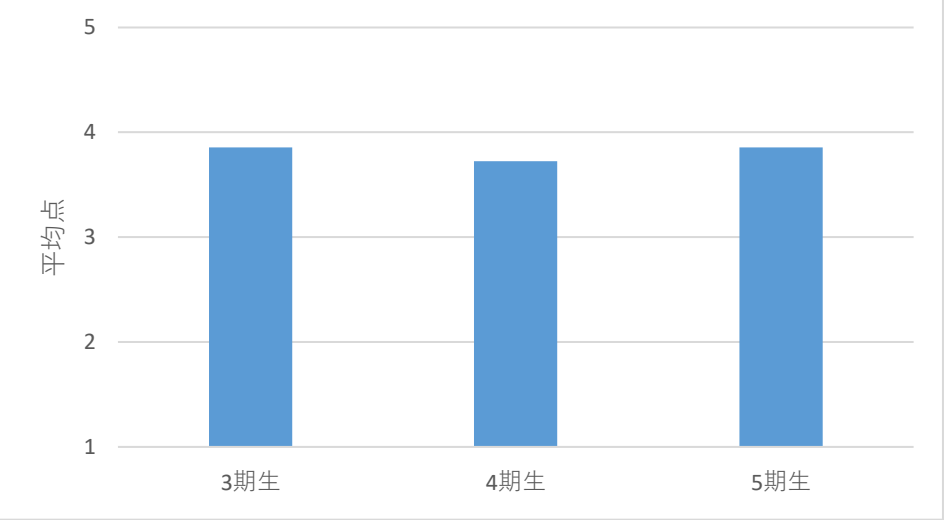
カリキュラムへの満足度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

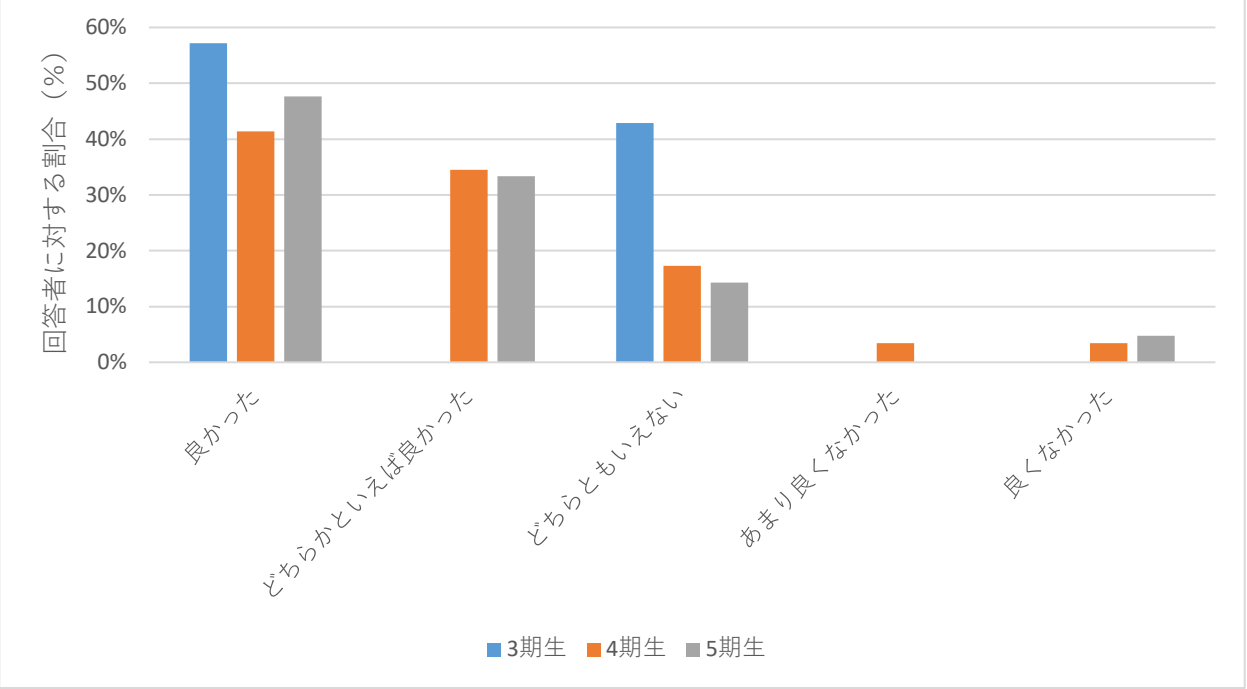


地域医療への貢献度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）



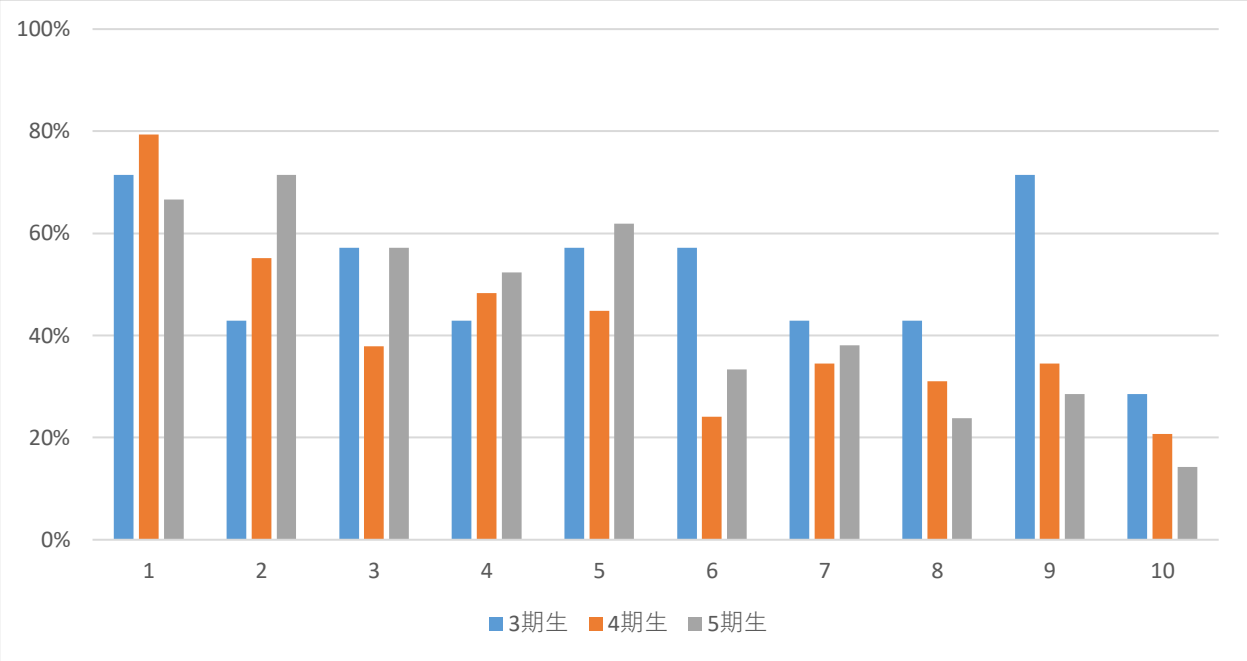
岩手医科大学を卒業して良かったか。



・カリキュラムへの満足度、地域医療への貢献度は、概ね肯定的な評価となっている。

・実施時期に寄らず、岩手医科大学を卒業したことを肯定的に受け止めている卒業生が多数派を占める。

学修成果の達成度に対する自己評価（達成したと自己評価した学生の割合）



・学修成果の達成度について、「医療人としての倫理観」の達成率が最も高く、次いで「医薬品の適正な扱い」「チーム医療に資するコミュニケーション能力」「法規・制度・公衆衛生」が続く。

・卒業時期に寄らず、「次世代を育成する意欲」「問題解決能力」「研究マインド」に対する自己評価が低い。これらは専門教育のみでの涵養が難しい可能性がある。

1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。